

今回は、探究活動の事業計画についてのお知らせです。

※コロナ禍を考慮し、オンライン等の代替措置もしくは中止になる場合があります。

◇ SGHネットワーク校、FRH校として、探究活動に取り組みます。

SGHネットワーク校、FRH校として、様々なグローバル課題、地域課題に関する探究活動を実践する予定。各種事業は新型コロナウイルス感染症の対応状況をふまえながら実施。

◇ 研究主題： グローバルな視野をもち、多分野で活躍できるリーダーの育成

7年間の蓄積を基盤に、「課題解決型研究」「地域貢献」「国際交流」「キャリアプランニング」を軸とした生徒の活動を、「授業改善」を通じて支援するプログラムを展開する。目標とするグローバルな視野をもち、多分野で活躍できるリーダーの育成を達成し得る効果的な方策の研究開発を進め、SGH事業の充実を図る。

◇ 1年生・課題解決型研究 ～SDGsとまちづくり～

1年生は、関市市民協働課、関市市民活動センターの協力の下、課題解決型研究に関する基礎的スキルを学ぶことから始める。SDGsに関わる地域課題を個人で研究する過程で、コミュニケーション力や課題発見・解決力を高める。今年度も「SDGsとまちづくり」を共通テーマとする。地域課題の研究を通じてSDGs到達の道を模索し、「持続可能な地域開発」をめざす。研究成果は日本語プレゼンにまとめ、代表によるプレゼン大会を実施する。

◇ 2年生・課題解決型研究 ～SDGsと暮らし・いのち・きずな～

2年生は、1年次に習得した基礎的スキルや知識を活用し、各クラスで結成したグループごとに、SDGsに沿った具体的なテーマを「家庭科教科書・資料集」の中から選定し、課題解決に向けた具体的提案、あるいは効果的な啓発活動についての研究を推進する。研究成果は英語プレゼンにまとめ、代表チームによるプレゼン大会を実施する。

◇ 探究アウトリーチ（学びを生かした地域貢献・啓発活動・研究発表）

大学・企業・自治体・NPO等の外部団体との連携し、社会課題に取り組む活動を実施する。

- ◆ 第3回ダイバーシティSEKIシンポジウム 関市市民協働課
- ◆ 地産地消推進事業 キウイ焼肉のたれ、米粉、O'sora ドーナツ等
- ◆ YouTube配信・動画作成 関市商工会議所、関市観光協会
- ◆ 中高生向けキャリア支援誌「高校ぶうめらん」の編集 まちづくりNPOぶうめらん
- ◆ 若者活躍推進事業「VSプロジェクト」 関市市民協働課
- ◆ 探究活動交流集会「学びのカフェ」 関市観光協会・関高校主催
- ◆ 岐阜コミュニティFM「てにておラジオ」出演 ぎふメディアコスモス

◇ 国際交流

継続的に実施してきた海外研修は、昨年度に続き、感染症対策を考慮し中止とするが、世界とのつながりを考えるため、次のイベントを企画する。

- ◆ 世界遺産ツアー（合掌集落、屋久島）希望者対象
- ◆ 海外とのオンライン交流 モンテ・サン・アンジェロ・マーシー高校（豪州）
- ◆ YouTubeライブによる英語による発信 関市の観光、文化、産業を紹介

◇ フロントランナー

完成度の高い研究に関しては、外部団体の審査を受けることを積極的に促し支援を行う。部活動や有志生徒を軸に研究を進めた生徒が、全国高校生歴史フォーラム、日本霊長類学会、プリマーテス学会などで研究発表を予定している。そのほか、英語スピーチコンテスト、日本数学コンクール、英語プレゼン大会、科学の甲子園、化学グランプリ等の各種コンテストにも、例年通り、積極的な参加を促す予定である。指導に関しては本校教員のほか、連携する大学や企業、NPO 法人等の専門家等、外部有識者からの助言や指導を受けることとする。

◇ 授業改善

日常における学習活動の中心は授業であり、その改善は全生徒にとって大きな効果を生むものとする。「高等学校学習指導要領」記載の学力3要素（知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ態度）を育成し、さらに高次元での統合をめざす授業改善を推進する。育成した力を探究活動に活かしつつ、さらに各個人のキャリアプランに基づく進路開拓に活用する。

（1）校内研修

① 定期的実施する各教科会や学年ごとの教科担当者の打合せ及び相互の授業参観において、授業内容や授業形態を研究→実践→反省（PDCA）し、指導内容や指導方法を改善する。その際、有効な指導法を模索していく。併せて、年間指導計画やシラバスの見直しも行う。

<授業形態の例>

- ・電子機器（パソコン・タブレット端末
- ・電子黒板等）を利用した授業
- ・コミュニケーション力・言語活用能力を高める授業（ディベート等）
- ・課題発見・解決力を高める授業展開

② 教科ごとに研究授業を実施する。また年2回（6・11月）の校内職員向けの授業公開週間（2週間ずつ）を設定するとともに、生徒による授業評価及び教員による相互の授業評価を行い、主題実現に向けた職員の授業力向上を図る。

③ 先進校視察の報告会を職員会議や教科ごとに実施する。また職員対象の外部講師による研修会も実施して職員の授業力向上や意識改革の糧とする。

（2）教員研修の充実

先進的研究や人材開発の分野で成果を挙げている大学・学校・企業などの関係機関を、各教員自ら調査・訪問し研鑽を積む。研修成果は職員研修を通じて校内で共有し、さらに授業において還元する。

◇ キャリア教育

探究活動を推進する上で、生徒一人ひとりの知的好奇心や公德心を喚起し、課題解決型研究や社会貢献に向かう意欲をおのずと促進するような働きかけとして、生徒全員を対象とした講演会のほか、キャリア教育に関する諸事業を下記のように用意する。

（1）講演会

グローバル課題や国際貢献をテーマとした講演会を以下のように設定している。

日程： 7月6日（火） 演題： 未定

講師： 内山崇氏（JAXA 宇宙エンジニア 輸送船フライトディレクタ）

（2）社会連携セミナー・さくら塾

大学・企業・行政機関等の各分野で、活躍中の方々を講師とする希望者対象講演会を、社会連携セミナー「さくら塾」と題して企画する。例年、持続可能な地域開発（医療・福祉・教育等）を始めとし、様々な分野の専門家を講師に依頼している。

（3）リサーチツアー

大学や研究機関、企業等を訪問し、施設見学や実験講座、体験型学習、フィールドワーク、語学セミナー等を受講する。